

2020 年 5 月 20 日

担当者: 小松

週間コスト 3週上昇

原油 需給改善期待で堅調

本紙算定による円建て週間原油コスト（ドバイ、オマーン平均）は、12〜18日が前週から円1円40銭、13〜19日が1円70銭ほど上げた。別表参照。原油相場が4月末にいったん底を打って以降、3週続けて上昇している。元売仕切価格について市場筋からは1円50銭〜2円の引き上げを予想する声が出ている。

12〜18日 1円40銭
13〜19日 1円70銭

原油相場は需給改善の期待が高まった前週の流れを引き継いで上昇した。欧米やアジア

など各国で、新型コロナウイルス感染症対策のため制限していた経済活動を段階的に再開する動きが拡大。石油需要が回復に向かうとの観測につながった。OPEC（石油輸出国機構）やロシアなど主要産油国は大規模協調減産を開始したが、サウジアラビアは6月から100万バレルの追加減産に取り組みと伝

週間原油コストの推移

期間	原油相場		為替(△は円高)		円建て原油コスト	
	\$/バレル	前週比	円/\$	前週比	円/\$	前週比
4/7~4/13	28.65	3.20	109.74	0.54	19.77	2.29
4/8~4/14	27.97	0.95	109.44	0.19	19.25	0.68
4/14~4/20	25.18	△3.47	108.67	△1.07	17.21	△2.56
4/15~4/21	24.52	△3.45	108.70	△0.74	16.76	△2.49
4/21~4/27	20.39	△4.79	108.77	0.10	13.95	△3.26
4/22~4/28	19.38	△5.14	108.66	△0.04	13.24	△3.52
4/28~5/4	22.16	1.77	108.15	△0.62	15.07	1.12
4/29~5/5	23.73	4.35	108.08	△0.58	16.13	2.89
5/5~5/11	29.72	7.56	107.53	△0.62	20.10	5.03
5/6~5/12	30.33	6.60	107.78	△0.30	20.56	4.43
5/12~5/18	31.62	1.90	108.24	0.71	21.53	1.43
5/13~5/19	32.67	2.34	108.20	0.42	22.23	1.67

(注)原油はドバイ、オマーンの平均。為替レートはTTS。

わった。EIA（米エネルギー情報局）がまとめた8日の米原油在庫は16週ぶりに減少。

15日の米石油掘削装置稼働数は、石油サービス企業ベーカー・ヒュースの調査で9週続けて前週を下回った。指標原油（期近、終値）は18日に米産WTIが31.82ドルと30ドルを回復し、北海ブレントは34.81ドルに続伸。3月中旬以来、2カ月ぶりの高値水準をつけた。米産WTIの期近物が19日に取引期限を迎えるなか、在庫水準の高止まりを背景に価格急落への懸念が出ていたが堅調な値動きを示した。中東産ドバイ、オマーン平均は12〜18日が前週から1ドル90銭、13〜19日が2ドル30銭ほど値を上げた。為替相場は円安ドル高に振れた。大手銀行TTSレート平均は、

12〜18日が108円24銭で前週から71銭の円安ドル高。13〜19日は108円20銭で42銭の円安ドル高となった。米製薬会社による新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が高まり、米株式相場が大幅上昇。円売りドル買いを促した。